

第21回日本の次世代リーダー養成塾に参加して

◇卒塾生の感想文より

No. 1

1 リーダー養成塾を受講して

私はリーダー塾を通して、主に2つに分けて感想を伝えさせていただきます。

1つめは、視野が大きく広がったことです。多くの講義を受けさせていただきましたが、新しい知識や視点を与えてくれるものでした。GHSも含め、世界的な視点で物事を見る力を養えたと考えています。

2つ目は、最高の仲間と出会えたことです。クラス内外で、多くの仲間と触れ合いました。GHSの時に、クラス内で本気になって意見を出しぶつかり合うこと、そこには涙もありました。しかし、その本気のぶつかり合いが、仲間としての絆を深めたと思います。

今でも思い出すほど居心地の良い場所でした。

辛いことや、苦勞することもあったけれど、それ以上に達成できたものや、得たものが多く、リーダー養成塾に参加できて良かったと思っています。

※GHS…グローバル・ハイスクール・サミット

2 印象に残った講義とその理由

私は、外務省の中川さんのお話が印象に残っています。リーダー養成塾の一期生ということもあって、実際に日本を担うリーダーとして活躍されており、凄いと感じました。私は英語があまり得意ではありませんが、少しずつでも外国語を理解していきたいと思っています。

中川さんの話では、初めの一步が大事であり、自分の好きなものや簡単なことからでも挑戦すること、誰かのために前向きな影響を与えること、色々な人と関わる中で「ありがとう」と感謝をのべることを大切にすると良い、と教えていただきました。

リーダー養成塾も大きな挑戦であり、これからの人生において、やらずに後悔するより、やって後悔する方が多くのものが得られると教えていただき、とても納得しました。

3 今後のわたし

私は、リーダー養成塾でたくさんの視野や経験を得ました。

まず私は、辛いときに人の支えになれる人間になりたいと思います。

このリーダー養成塾で、自分を含め、多くの人が、辛い思いをしたと思います。涙を流した人も少なくないと思います。そんな時に支えてくれた人が多くあり、自分自身もそのような人間になりたいと感じました。

夢は、特に決まった訳ではないですが、教師のように人を導く存在が良いと感じました。

日本の中で誰かに教えるというだけでなく、世界を視野に入れ、貧困地域等、教育を受けられない子に対しての教育の場についても思いを広げて行きたいと思っています。

このリーダー養成塾で学んだことを通して、将来の多くの人の役に立ったり、支えたりできるような人になりたいです。

1 リーダー養成塾を受講して

リーダー塾では自分の周りの違いに圧倒される毎日でした。志が高く、同じ高校生とは思えませんでした。私が今まで見てた世界はこんなにも小さかったのか、今まで何をしてきたんだろうと実感しました。今後の自分の将来や、理想とする世界のことなど深い話もたくさんすることができました。実際に、今いる環境で同世代と深い話をするのは経験がなかったので楽しくて嬉しかったのを覚えています。リーダー塾が終わった後も、連絡をとりお互いを刺激し合える仲間ができました。そこで、リーダー塾で仲間から刺激を受け学んだことがあります。それは、とにかくいろんな方と関わり、自分の夢を語ることです。そうすることで自分を客観視することができ、自分自身の成長にも繋げることができます。自分のやりたいことを口に出すことで同じ目標を持っている仲間とも出会え、夢の一步に繋がります。今回の経験を通して、夢の実現の一步として挑戦していることがあります。それはリーダー塾の仲間とボランティア団体を立ち上げることです。今はその実現に向けて基盤を作るために頑張っています。

リーダー塾は私にとって今まで1番充実し、自分を変える一步だったと感じています。この経験を活かし、色々なことに興味を持ち挑戦することを大切にしていきたいです。

2 印象に残った講義とその理由

小笠原浩先生のお話が印象に残っています。なぜ課題とされているのか、その本質を知ることができたと思います。

まず働き方改革についてもっと伸ばすべきだとおっしゃっていました。女性の就業率が高く、高齢者の比率が高いため経済がまわっていかないという現実はとても納得ができました。その中で正規雇用、非正規雇用という制度があることが何よりの問題だということもおっしゃっていました。自分で限界を決めてしまってやりたいことをあきらめてしまうような環境にあると思います。同じ時間働いてるのになぜ非正規雇用の方が賃金が安いのかわかりません。賃金と労働を同じベクトルとして捉えて、それに対応した労働と賃金をもらうことが大切だと気づきました。

3 今後のわたし

私にはずっと夢がありました。それはNPOを立ち上げることです。その夢に向かって、リーダー塾の仲間と学生団体を立ち上げるようになりました。全ての人が自分らしく生きられる世界を作るを目標に掲げ、第3の居場所を作れるような団体を作りたいと思っています。まだ準備途中ではありますが、夢の実現の一步に近づいてよかったと思っています。今後も挑戦することを忘れずにしたいです。

1 リーダー養成塾を受講して

たくさんの方言が飛び交っていて面白かったです。

私は中学3年生の時「ぎふ立志リーダー養成塾」に参加しました。そこでは合掌造集落の担い手を増やすためにどうしたら良いのかについて考えました。初めからみんなが同じ方向を向いていたため物事がうまく進み、楽しい政策を発表することができました。今回の課題は「地球市民の皆さんへ～多様性社会を実現するには～」でした。事前課題である程度自分自身で政策を考えていたのですが、教育面や経済面、法律面での意見が分かれ、初めて大きな壁につきあたりました。中間発表では意見がまとまっていないまま発表し、6チーム中6位だったり、学生リーダーや社会人アドバイザーの方から厳しい言葉をいただいたりして大きな挫折を味わいました。最終発表前日に一人ひとりの気持ちを言い合いひとつになったところでみんなで同じ方向をようやく向くことができ、最終的に6チーム中3位という好成績を残すことができました。この経験を学校生活でも活かしていきたいです。

今回の塾では初日から携帯電話が回収され、初めは辛かったです。しかし、早く寝ることができたり、いろいろな人と交流する時間が増えたりと良いことばかりでした。

2 印象に残った講義とその理由

どの講義も面白く、興味深かったのですが、特に印象に残った講義は、国境なき医師団（MSF:Medecins Sans Frontieres）の産婦人科医、空野すみれさんの「自分の人生を自分自身で決められるように」と言う講義です。

医療系に興味があったためとても興味深い話でした。国境なき医師団（MSF）についてや、空野さん自身のこれまでのフィールド活動体験、パレスチナ、ガザ地区でのMSFの活動、MSF日本理事として組織が直面する課題について知ることができました。

民間で非営利の国際医療・人道援助団体であるMSFの活動に関して、大切にしている活動原則「独立・公平・中立」を軸にご紹介していただきました。これまでの派遣の中で見えてきた妊産婦の直面する課題や紛争地域での医療・人道支援活動が直面している問題点について知ることができました。

3 今後のわたし

2週間の合宿生活を通して、基本的な生活習慣を身につけ、相手を思いやる精神を養うことができました。大きな挫折と大きな壁を乗り越えることができた経験をどうやって活かそうかと考えた結果、私は生徒会役員としてこの塾での経験を活かそうと考えました。

まずは挑戦すること。今回の塾では24人もの各界を代表する講師の方々の講義を聞くことができました。その中で最も多くの方がおっしゃったのは「やろうと思ったことは行動してみる」という趣旨の言葉でした。中学の時にも生徒会副会長として240人程度の生徒をまとめましたが、当校は中高一貫校で800人を超えます。そんな多い人数をまとめられないと思い1年生の生徒会選挙には立候補しなかったのですが、今回の塾を通して生徒会に携わるたくさんの人と触れ合い、自分も生徒会役員として全校生徒が楽しんでもらえる学校にしたいと思い、今回の生徒会選挙に立候補します。

次に正解のない問題に立ち向かうこと。今回のプロジェクト型企画「グローバル・ハイスクール・サミット」では多様性社会を実現するという正解のない問題にチームで戦うことができました。この経験を活かして当校における問題を解決したいです。

1 リーダー養成塾を受講して

この度、私は「日本の次世代リーダー養成塾」に参加する機会を得て、多くの貴重な経験をしました。12日間の合宿生活では、異なるバックグラウンドを持つ高校生たちと共に過ごし、互いに刺激を与え合いながら学びました。次世代リーダー養成塾では、全国から集まった高校生たちが一堂に会し、共に学び、ディスカッションを行いました。

このプログラムに参加する前は、リーダーシップとは単に「指示を出し、グループを導く」ことだと思っていました。しかし、塾での学びを通じて、リーダーシップには「他者を理解し、共感しながら目標に向かって共に歩む」ことが重要であると気づきました。

講義やディスカッションでは、さまざまなバックグラウンドを持つ仲間たちと意見を交わすことができました。その中で、自分と異なる価値観や視点を持つ人々とどのように協力し、共に目標を達成していくかを考える機会が多くありました。特に、自分の意見が正しいと思い込んでいた時に、他者の意見を尊重し、柔軟に対応する力が求められました。これにより、チームとしての一体感を深め、より強いリーダーシップを発揮できるようになったと感じています。リーダー養成塾では、国内外で活躍する専門家たちによる講義が行われました。その中でも、特にグローバルな視点からのリーダーシップについて学んだことが、私にとって大きな刺激となりました。このプログラムを通じて、私はリーダーとしてだけでなく、人間としても大きく成長したと感じられました。

2 印象に残った講義とその理由

リーダー塾では元国連事務次長の明石康先生やマハティール元マレーシア首相など国内外で活躍されており、日常生活ではお目にかかることもできないような方々からご講義を受けられすべてが印象的でした。中でも最も印象的なご講義は西日本新聞社の坂本信博先生の「巨竜に迫った3年間～隣人中国とどう向き合うか～」というご講義です。中国に関するニュースなどは建物が倒壊したといった内容を多く耳にします。しかし、実際の中国は多くの分野で日本を超えていることや、反日のイメージがありますが、日本のファンが多く、1600人以上に出会ったが日本差別は受けずむしろ温かかったなど普段のニュースでは聞かないような内容で非常に驚きました。坂本先生は新疆ウイグル自治区にもいかれたところ、全員がQRコードで管理されていたり、飲食店では包丁が鎖に繋がれ、バーコードが付いていたたり、地図上では学校なのに、強制収容所らしき鉄格子のついた建物があるなどといった実情が広がっており、日本で報道されている中国とは多くの点で違うということが実体験を交えて知ることができたからです。

3 今後のわたし

次世代リーダー養成塾に参加し、私はリーダーシップの重要性だけでなく、自分自身の成長にも大きな変化を感じました。特にグループワークやディスカッションを通じて、他者と意見を交わしながら共に成長することの大切さを学びました。初めは自分の意見に自信がなく、他者に流されがちでしたが、次第に「リーダーシップとは自分の意見を押し付けることではなく、他者と共に解決策を見つけ出すことだ」と感じるようになりました。

また、講義やグローバルな視点でのディスカッションを通じて、自分の将来について深く考えるきっかけを得ました。これまで漠然としていた目標が、具体的な行動計画へと変わり、「自分に足りないスキルをどう補うか」を考えるようになりました。今後は、この養成塾で培ったリーダーシップスキルを活かし、他者と協力しながら社会に貢献できるリーダーを目指していきたいです。成長を続け、次世代を担う存在としての役割を果たしていくことを決意しました。

1 リーダー養成塾を受講して

一番の感想は、「楽しくて楽しくて仕方がなかった」だ。塾の期間中は様々な感情を味わった。このようなことは今までの人生で初めての経験であり、何か新しい世界が開けたような感覚だった。自分たちの頭だけでひたすら何かを考えたときの楽しさや、ディスカッションでなかなか積極的になれなかったときの歯がゆさ、そして一人一人の意見をうまくまとめられなかったときの悔しさや後悔。また、何のためにこの塾に来ているのかわからなくなったときの苦しさやクラスがひとつになって発表をやり切ったときの達成感、仲間の夢を聞いたときの感動や涙。喜怒哀楽の様々な感情に忙しかった。そしてそれが、日常生活では絶対に味わうことのできない充実感と一つのことによって本気になる楽しさを私に与えてくれた。

正直なところ、このリーダー塾に参加する前は両親に勧められたから参加するという受け身な気持ちや、新しい挑戦への不安もあった。しかし実際は、想像をはるかに超えた、かけがえない体験をすることができ、これからの人生における大きな自信となったと感じる。そしてこの体験は、私にとって一生忘れないものになるだろう。

2 印象に残った講義とその理由

国境なき医師団 空野すみれさんの講義が印象に残った。それは空野さんが高校生のときに感じた「違和感」に共感したからだ。世界では非人道的な行為によって毎日罪のない人の命が奪われている。貧困や飢餓、暴力に苦しむ人々がいる一方で、私は毎日3食食べることができて、夜には安心して寝られる場所がある。そして何より、大切な人が一緒に生きている。私たちは平和で何一つ不自由のない日常を過ごしていることに、何か心にひっかかるものを覚えた。つまり、地球上で起きていることと私の日常との間にあるギャップを改めて感じたのだ。

空野さんはこの「違和感」から目を背けずに、自分にできることを見つけ、人を救っている。それに対して、「違和感」や向き合うべきものからいつも目を背け、深く考えることを避けてしまっていた自分に気が付いた。今の私が空野さんと同じように被災地や戦場で多くの人々を助けることは難しい。それでも、この地球上で何が起きているのか、その実態をさらによく知ることから始めて、自分なりにできることをしたいと思った。きっと地球上で起きていることは今の私とどこかでつながっていると思う。これからは、空野さんの「違和感」のように、自分が感じた疑問や心の小さなひっかかりに向き合い、たくさん悩み、考えていきたい。そして自分が出した答えを信じて、正しいと思える道を進んでいきたい。

3 今後のわたし

私は将来、人と人を「つなぐ」人になりたいと思った。今回のリーダー養成塾での経験を通して、「つながる」ことの大切さを感じたからである。例えばグローバル・ハイスクール・サミットの話し合いでは、みんなの前に立って司会をする人和其他の人々の間に溝が生まれたとき、議論が前に進まないことがあった。しかしそのようなときに、両者の間に立って双方の意見を理解し、歩み寄りを促すことで溝を埋めて、みんなを「つなげる」存在がいたことで、誰かを取り残すことなく、全員の思いを尊重した前向きな話し合いができた。また、同世代の様々な夢を持つ仲間と出会って語り合い、「つながった」ことで、私自身夢に向かって新たな一歩を踏み出す勇気を得ることができた。

人と人とを「つなぐ」人になるためには、様々な立場を理解し、寄り添うことが必要だと思う。多くの人との出会いを経験し、積極的に交流することで、自分の価値観をアップデートしていきたい。そのうえで、今の自分よりもさらに想像力や思考力を養い、人としての魅力を磨いていきたい。

これからは失敗を恐れず、新しいことにどんどん挑戦して、忙しい毎日を全力で楽しみたい。そして、この気付きをくれた全ての人々への感謝を忘れずに、次は自分が誰かの笑顔のために熱意をもって生きていきたい。

1 リーダー養成塾を受講して

このリーダー塾を通して、様々な環境で生きている方々の講義を受けたり、全国、世界から集まった仲間たちとディスカッションをしたりすることで新たな価値観や考え方を知ることができました。最初は優秀な仲間の中で自分がしっかり成長できるか不安もありましたが、日を重ねるごとに自分の考えも深まり、意見を伝える機会が増えました。

講義では自分が今まで知らなかった働き方や社会像を学ぶことができ、新たな視点から物事を考えられるようになりました。グローバル・ハイスクール・サミットでは、ディスカッションのやり方から内容まで分からないことだらけでした。学級委員としてクラスに貢献出来ることを考え、行動し、より良いものを作り上げるために努力しました。結果よりもみんなで話し合いを楽しめるようになったことに大きな価値を感じました。

日常生活では絶対に得られない学びや経験がたくさんあり、とても充実した時間を過ごすことができました。

2 印象に残った講義とその理由

どの先生の講義も興味深く、新たな知識や考え方を知ることができてとても刺激になりました。中でも私が特に印象に残っている講義は、櫻井龍子先生と山口祥義先生の講義です。

櫻井先生は女性の活躍が難しいとされていた時代に努力し、挑戦し、自ら未来を切り拓かれていた姿がとてもカッコよくて憧れを抱きました。先生の経歴や学生時代の詳しいお話を聞くこともでき、高校での過ごし方や大学の学部選びの大切さも学ぶことができました。挫折や苦労について話されていたことについては、悔しく、辛い思いをされた後の切り替えの早さと乗り越えていく精神力が印象に残っています。私も常に先を見つめながら生きていきたいです。

3 今後のわたし

このリーダー塾の経験を通してより良い社会、世界を築いていきたいです。私は将来教育関係の仕事に携わり、良い未来を創りあげる人を育てていきたいと思っています。誰もが可能性を秘めていて、その人にしかない力があることを伝えたいです。リーダー塾では同じような考えを抱いている仲間を見つけ、意見を共有することができました。これをその場限りにせず、これからも考え続け、行動に移していきたいです。また、学校という今いるコミュニティでもプログラムで学んだことを伝えたり、それを活かした活動を企画したりしていきたいです。

1 リーダー養成塾を受講して

濃密な仲間と濃密な講義。今まで接してきた人たちと完全にベクトルが違った。接していく中で自然と信頼が芽生える。ディスカッションや寝食を共にする中で個性もあり、かつ忌憚のない意見をぶつけあうことができる。一生に残る経験を得ることができた。また、いま思い返せば自分を見つめなおすきっかけになったのだと感じている。

自分はもともと勢いでなんでも乗り越える性格だったが、講義やディスカッションを通じて自分の力のなさを痛感し、筋道立てて意見を構成し発信していくことの重要性、そして意見の共有など実生活で今まで意識のできなかった新たな視点に気づくことができた。そして、これからの人生を生きていくうえで責任を取ることは何かについてリーダー塾で学んだことを活かし突き詰めていきたい。

2 印象に残った講義とその理由

十五代 沈壽官さんの講義が最も印象に残っている。薩摩焼と美濃焼とを結びつけて、陶器産業の衰退という視点からどのようにして産業、製品と向き合うべきかを考えられるきっかけを得たからだ。今までは、身の回りのものに特にこだわりを持たず、安ければいいという安直な思いで製品を購入していたが、日本の経済が落ち込んでいると、使える金額が少なくなり、自然と安い大量生産品を買うことになり、おのずと負の連鎖が発生するという事に気づいたことに加えて、質の高い製品を使うことで質の高さという新たな視点を感じることができるといふ、当初広い視点を身に付けることができることを目標にしていただけあってうってつけの講義だった。貴重な意見を聞くことができてよかったとともに、これからの人生に活かしていきたい大事な考え方を得ることができて満足している。

3 今後のわたし

リーダー塾を通して、責任を取ることの大切さ、および自律、仲間との連携を身に付けることが喫緊の課題ととらえた。リーダーになるために必要な要素がどれほどあるかを改めて痛感した。これからのキャリア形成とリーダーとして活躍したいことを考えると、現状の自分だと性格上勢いに走ってしまう。だからこそ、まずはリーダー塾を通して気づいたことを少しずつ実践していく形をとりたい。そして、今自分の高校では情報の共有が甘いと感じている。焦らず着実に、よりよい環境を作り上げるという面で新しい視点からアプローチしていくとともに、ディスカッションでじっくり考えた経験も活かし、少しずつ次世代に適応していけるような環境を身の回りから作り上げていきたい。

1 リーダー養成塾を受講して

リーダー塾を通して私は、人との関わりについて改めて学びました。その理由は、知り合いが一人もいない空間に一人投げ出され、そんな中多くの人と関わって過ごしてきたためです。

2 印象に残った講義とその理由

印象に残った講義は、櫻井氏の講義です。その理由は、これまで、学校で習ってきたことであったり、育休に関してであったりの、裏話を聞けたというのが貴重であり印象に残りました。

3 今後のわたし

今後私は、リー塾の中で、一つの物事を、多方面から見るという風に改めて学んだため、それを活かし生きていきたいです。